

# 令和2年度 摂津市立味生小学校 第3回学校協議会 要点録

令和3年1月27日(水) 19:00~20:35

於：味生小学校 ランチルーム

記録 清家 伸次(事務局:本校教頭)

出席 委員 4名

## 1. 今西会長より挨拶

今西:新型コロナウイルス感染症の影響は、様々な形で日常生活に出ている。雇用の問題は特に大きく、身障者の雇用について、大きな影を落としているという報道を先日、テレビで見た。学校にも様々な影響が出ていると思うが、支援が必要なことについては遠慮なく言って欲しい。

## 2. 校長より挨拶

校長:学校教育自己診断に関わるアンケートを実施し、その結果の速報を前回お示ししたが、本日はそれをもとに学校経営計画の達成状況について、評価をいただき、次年度の学校経営計画策定にも生かしたい。研究発表会については、このような状況を踏まえ、オンラインでの開催に変更した。本日、変更の案内も資料としてお配りしている。なお、ホームページには研究発表会のCMもアップしたのでお時間あればぜひご覧いただきたい。

## 3. 学校教育自己診断のアンケート結果からの評価(学校経営計画の達成状況)

**自己評価**: 校長より。(評価は A,B,C,D の4段階)

**項目1**:【子どもの笑顔があふれ、安心して規律のある学校・学級集団づくり】 ※自己評価 C

- ・「学校に行くのが楽しい」児童からの100%の肯定的回答をめざしていたが、76.8%に留まる。
- ・授業改善・学級経営の好事例を校内で共有し、集団づくりの質を全体的に高めている。

**項目2**:【基礎となる学力を保障し、子どもが落ち着いて意欲的に学ぶ姿のある授業づくり】

※自己診断 B

- ・今年度は、全国学力・学習状況調査が中止となり、12月実施予定の摂津市学力定着度調査が1月20日に延期され、調査結果をもとに協議することができない。市の調査については各学年とも調査に正対し、対策も立て、調査当日の雰囲気も緊張感のある良いものだった。
- ・宿題の提出状況は、改善されてきていると判断できる。
- ・「児童は意欲を持って学習に取り組んでいる」の肯定的回答率のアップは、研究の成果が表れた結果であると考える。

**項目3**:【気持ちのそろった教職員集団づくり】

※自己評価 D

- ・教職員のアンケート回収率を100%にすることが大前提であると考える。
- ・教職員のアンケートにおいて「校長の経営方針や教育理念を明確にしている」の肯定的回答が大きく減少している。校長として反省するべきところであり、自身の方針をどう明確にするかを今一度考えてみたい。
- ・「学校予算について理解して適正に対応している」の数値は約半数。予算の仕組みや市民の税金を使用しているという意識がもっと必要であるととらえる。

#### 項目4：【地域・保護者とともに子どもを育てる信頼関係づくり】

※自己評価C

- ・「学校は情報を発信している」、「あいさつがきちんとできている」については、昨年度より肯定的回答の割合が減少している。
- ・「児童は学校のきまりを守っている」の肯定的回答の割合は、「味生の4か条」（まず味生小学校の児童が守ることを意識すべき4つの項目）を意識することで改善されたようにも感じるが、数値としては約半数であり、依然として低いと言わざるを得ない。
- ・「児童は、学習規律・生活規律が身につけている」の肯定的回答の割合は大きくアップしており、取組みの効果がうかがえる。
- ・学校からの発信はもっと積極的に行うべきだった。例えば、ダイキン工業とのオンライン工場見学などの新たな取組みはたくさんの方に知ってもらわなければならないと思う。
- ・地域との連携については、もっと学校から積極的に行うべきだと考える。

**関係者評価**：協議会委員で協議。（評価はA,B,C,Dの4段階）

#### 項目1【子どもの笑顔があふれ、安心して規律のある学校・学級集団づくり】

委員：「学校に行くのが楽しい」は「早寝・早起き・朝ごはん」が出来ている児童は元気で過ごしているため、肯定的な回答の数値が高い。もっと、学校だより等で生活習慣の改善の必要性をアピールするべき。

委員：不登校の人数で「A」、「B」、「C」をつけるより、学校が取り組んだことで成果が出たのなら、また、減少人数が少なくても効果があったということなら、「A」としてもいいのではないかと。数字にこだわり過ぎなくてもいいのではないかと思う。

委員：不登校対応として、学校が様々取り組んでいることは聞いている。とてもありがたい。しかし、数字もないとわかりにくいと思う。

委員：数字ばかりに気をとられていた時期もあった。たしかに数字にこだわることに意味があると思うが、それが全てにはいけない。

校長：学校の取組みと保護者の思いが合致した時に大きな効果が生まれる。個々のケース（数字）も大切だが、その数字の背景にある取組みについても検証しないといけない。やはり、中身が大切。校内組織の中でも、情報共有が不十分な場合もあると思う。

委員：人権感覚が教職員に足りないのではないかと。いじめがあっても見逃してしまうようなことが起こったら問題。

校長：とらえ方について、個々にバラつきがあるのが現実。これは大きな課題。いじめも、小さなうちに摘み取ることが大切。いかに、子どもの気持ちを考えるかが大切。

委員：子どもや保護者の圧力が過ぎると、先生が、のびのびと教育活動ができない。子どもと親が、学校を攻撃することでつながっているというような状況はダメ。本当のこととは違うことまで言って学校を攻撃しようとするところがある。こんな時には、先生たちを守らないといけないと思った。味生小学校の教職員にも、やって欲しいことをもっと言って欲しい。でも、なかなか若い教職員は言い辛いと思う。学校の外部の我々が歩み寄ってあげないといけない。

委員：人生経験豊富な人の言葉は心に響く。しかし、若い教員のストレートな言葉が心に届くのかというと、なかなか難しい。人生経験が少ない教職員の言葉はそれほど心の奥まで届かない。そこが難しい。

委員：教職員の姿勢はもっともっと変わっていくべき。周りはけっこう評価してくれているし、取組みの結果も出ている部分もたくさんある。

校長：教室の環境は様々であるが、下足場はとても良い。自分たちでチェックしていたり、意識したりする児童が増えてきている。これは取組みの成果。

委員：評価としては、Cが妥当かもしれないが、確実に変化は見られる。今後の教職員の取組みに期待する。

## 項目2【基礎となる学力を保障し、子どもが落ち着いて意欲的に学ぶ姿のある授業づくり】

委員：学力保障の面から言うと、低位層の児童をもっと上げなければいけない。宿題を切り口にしているが、量や内容によっては児童にとっては苦しみでしかない。その子にとって、達成感のある宿題にしてあげないといけない。

委員：宿題をさせるための家庭との連携についてももしっかり考えないと、さらに児童に精神的な圧力がかかる。かつては、家庭環境などによって家で宿題ができない児童は、学校で残ってでも、やらされていた。残すことが難しい時代だが、何とかして欲しい。

委員：摂津市学力定着度調査の結果はまだ返ってきていないが、普段のテストの状況は？

校長：いつ教室へ行っても、授業態度は良い。勉強するという雰囲気が漂ってくる。テストも真面目に取り組んでいる。

委員：学校がしんどい時期は、学力もしんどくなる。少しずつでも学力の向上をめざす取組みを今後も継続するべき。

委員：評価としては、よくやっておられると思うのでBでいいのでは？教職員の姿勢はAでもいいようにも思うが。

## 項目3【気持ちそろった教職員集団づくり】

委員：教職員のアンケートの回収率があまりにも低い。無記名なら提出できるはずなのに。何らかの信条で出す気がないのか。それなら校長がいくら言っても効果がない。

校長：普段の様子とも関係している。校内での書類等の提出期限を守らない、募集期限が過ぎてしまったコンクール等のポスターがいつまでも掲示されている、など。もっと一人ひとりの教職員の意識を高めていかなければ、アンケートも意味がない。校長自身の取組み不足と反省している。

委員：たしかに、期限切れのものが、地域の掲示板にはってあると恥ずかしい。学校の掲示がはりっ放しなのは、管理職でもっと指導するべき。

委員：教職員の回答率の低さは、校長の経営方針の評価が低いことを表しているともとらえられる。アンケートの目的ももっと伝えるべき。校長の思いを聞いていないのかと心配。

委員：回答していない一部の教職員へも、校長の思いをもっと伝えないといけない。もったいない。

委員：そんなことが実際にあるのか。

委員：校長は一生懸命話しているが、教員は聞いていないこともあるのでは。今日やるべきことを考えているのかもしれない。

委員：それだけ忙しいということではないか。

委員：教員の事務処理を担当する職員も必要なのではないか。余計な仕事が多過ぎる。

委員：自分の子どもを一人育てるだけでも大変なのに、たくさん子どもを相手にしている。と

ても大変だと思う。その上、授業以外の事務仕事が多いように感じる。

校長：多忙な状況を改善するために、現在スクールサポーターを2名配置していただいている。

教職員に求めるものは、様々な人と接することで、いろいろな価値観や考え方を吸収すること。多忙な中でも社会人として育てて欲しいと願っている。

委員：大人になってから、考え方を变えるのは難しい。だからこそ、校長が引っ張っていき、学校の方向性をしっかり示していくべき

委員：校長は、もっともっと自分のカラーを出していいのでは。一生懸命頑張っておられると感じる。

委員：項目3については、「D」という低い評価ではない。「C」が妥当ではないか。

#### 項目4【地域・保護者とともに子どもを育てる信頼関係づくり】

委員：地域のつながりを確認できる行事が今はできない。やりたい気持ちは十分あるのだが。

委員：こんな時だからこそ、地域の結びつきを大事にすることを考えないといけない。行事がな  
いとできないではなく、なくてもつながれることをもっと考えるべき。

委員：「学校へ行くのが楽しい」もそういうつながりを大切にすることで、肯定的な回答の割合が上  
がってくる。

委員：何度も言うが、朝ごはんをしっかり食べている子は元気。規則正しい生活習慣も見えてくる。  
子ども以外の面、保護者の姿勢なども見えてくるように思う。

委員：これらは、子どものせいではない。最低限の親の務めではないか。

委員：家庭の事情もあるので、踏み込み過ぎてはいけない。しかし、朝ごはんは家で食べて来て欲  
しいと願う。

委員：iPadを家庭でも使用する宿題を出したと聞いた。iPadを家庭に持ち帰らせたのか。

教頭：先週末に全児童に持ち帰らせた。

委員：家庭のネット環境は大丈夫か。

教頭：Wi-Fi環境がない家庭には、無料で貸し出しをしている。全児童の家庭にアンケートを取り、  
環境を整えた。これもGIGAスクール構想の取組みの一つ。

委員：機器にたくさん触れて、慣れていくことが大切。

委員：しかし、コミュニケーションが相手の顔を見てできないことについては心配。

委員：全くつながっていないよりはいいのでは。

委員：メールは、時間について関係なく送ってくる。それは問題。情報モラルの教育を併せて行う  
必要があるのでは。

委員：学校からの発信は紙だけではなく、メールなどデジタルを併用すべき。また、起こしたア  
クションの効果検証をする方法を考えるべき。伝わりやすさはどうだったのかなど。

委員：項目4については「C」でいいのではないか。来年度はコロナも終息し、学校がさらにのび  
のびと頑張ることを期待してこの評価でいこう。

委員：それにしても、こんなに委員同士が熱く語る学校協議会は、他にはないのでは。

委員：いい取組みを継続し、ぜひ笑顔があふれる学校を実現してください。

#### 4.その他

校長：大変残念だが、現在の状況を鑑み、2月の参観を中止する。

委員：学校の様子がよくわかるようにていねいな発信をお願いしたい。

#### 5.次回について

第4回 学校協議会(今年度最終)

令和3年2月24日(水) 19:00～ 於：ランチルーム

「令和3年度学校経営計画について」

校長：今回も資料を事前配付できず申し訳なく感じている。次回は、事前配付できるよう努める。

本日のご参会に心より感謝する。